



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月29日

上場会社名 コネクシオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9422 URL <http://www.conexio.co.jp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 裕雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 神野 憲昭 (TEL) 03-5739-3702
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	130,360	88.1	2,121	10.0	2,185	10.7	1,086	12.5
25年3月期第2四半期	69,293	11.0	1,928	△18.8	1,974	△18.0	965	△18.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	20.62		—					
25年3月期第2四半期	21.59		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	74,568	19,437	26.1
25年3月期	87,297	28,262	32.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,437百万円 25年3月期 28,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.25	—	13.25	26.50
26年3月期	—	15.75			
26年3月期(予想)			—	15.75	31.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	43.3	7,800	32.1	7,800	29.3	4,350	40.7	77.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	55,923,000株	25年3月期	55,923,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	11,184,854株	25年3月期	254株
----------	-------------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	52,683,491株	25年3月期2Q	44,738,146株
----------	-------------	----------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に円安・株高が進み、企業・個人ともに景況感は改善されつつあります。しかしながら、海外経済の下振れリスクに加えて、消費税増税の動きが消費マインドに影響を与える懸念もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が事業活動を展開する携帯電話市場におきましては、通信キャリア各社によるお客様獲得競争が活発に展開され、フィーチャーフォンからスマートフォンへの買替需要が促される一方で、人気機種が発売前の買い控えや商品の供給不足があり、販売台数は伸長せず低調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社は前年度の合併後、検討を進めておりました新会社にふさわしい企業理念、それを象徴するような社名およびロゴマークを制定し、二つの会社が真に融合し更なる成長を目指す体制を整えました。夏商戦の盛り上がりは少なく、9月には買い控えや人気商品の供給不足の影響がありましたが、合併による規模拡大等により、販売台数は141万台（前年同期比58.5%増）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,303億60百万円（前年同期比88.1%増）、営業利益21億21百万円（同10.0%増）、経常利益21億85百万円（同10.7%増）、四半期純利益10億86百万円（同12.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(コンシューマ事業)

厳しい市場環境の中、合併に伴うキャリア認定ショップ網の拡充とその後の移転・改装による接客カウンターの増設により販売台数増を確保するとともに、統合効果を創出すべく付属品を中心とした携帯関連商品の収益獲得に積極的に取り組みました。

この結果、売上高は1,223億9百万円（前年同期比97.3%増）、営業利益は30億92百万円（同48.2%増）となりました。

(法人事業)

通信キャリア間の競争が激しくなる中で、合併に伴う顧客基盤の拡大を活かし、端末販売、各種法人向けサービスのクロスセルおよび提案営業を強化した結果、企業の業務効率化を支援するマネージドサービスの獲得が進むとともにクラウドサービスでも導入が始まりました。また、プリペイドカード（POSAカード）の販売は順調に拡大し増益に寄与しました。

この結果、売上高は80億50百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は9億13百万円（同8.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べて121億83百万円減少し、509億56百万円となりました。これは、現金及び預金の増加7億6百万円、売掛金の減少108億16百万円、商品及び製品の増加13億23百万円、未収入金の減少28億97百万円等によります。

固定資産は前事業年度末に比べて5億44百万円減少し、236億11百万円となりました。これは、有形固定資産の増加89百万円、キャリアショップ運営権の償却3億43百万円、のれんの償却2億48百万円、投資その他の資産の減少15百万円等によります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて127億28百万円減少し、745億68百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて76億20百万円減少し、463億29百万円となりました。これは、買掛金の増加12億21百万円、短期借入金の減少29億円、未払代理店手数料の減少22億35百万円、未払金の減少34億43百万円、未払法人税等の増加6億54百万円等によります。

固定負債は前事業年度末に比べて37億16百万円増加し、88億1百万円となりました。これは、長期借入金の増加30億円、退職給付引当金の増加2億87百万円等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて39億4百万円減少し、551億30百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて88億24百万円減少し、194億37百万円となりました。これは、自己株式の取得による減少91億93百万円、四半期純利益の計上10億86百万円、配当金の支払7億40百万円等によります。

この結果、自己資本比率は26.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて5億56百万円増加し、24億16百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、111億82百万円（前年同期比104億49百万円増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上21億9百万円、売上債権の減少額108億59百万円、未収入金の減少額28億96百万円等の増加要因が、たな卸資産の増加額13億10百万円、仕入債務の減少額10億13百万円、未払金の減少額33億36百万円等の減少要因を上回ったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、有形固定資産の取得による支出6億53百万円、無形固定資産の取得による支出93百万円、敷金及び保証金の差入による支出96百万円等により、7億86百万円（前年同期比1億85百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、98億39百万円（前年同期比92億46百万円増）となりました。これは、長期借入による増加30億円を、自己株式の取得による支出91億98百万円、短期借入金の返済による支出29億円、配当金の支払による支出7億40百万円が上回ったことによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月15日に、当第2四半期累計期間の業績予想の修正を公表いたしましたが、通期の業績予想につきましては、平成25年4月30日に公表しました業績予想からの変更はありません。今後何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,566	2,273
売掛金	37,122	26,306
商品及び製品	9,284	10,607
未収入金	11,366	8,469
預け金	293	143
その他	3,530	3,169
貸倒引当金	△23	△12
流動資産合計	63,140	50,956
固定資産		
有形固定資産	3,728	3,817
無形固定資産		
のれん	2,321	2,073
キャリアショップ運営権	13,409	13,065
その他	597	570
無形固定資産合計	16,327	15,708
投資その他の資産	4,099	4,084
固定資産合計	24,156	23,611
資産合計	87,297	74,568
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,623	19,845
未払代理店手数料	6,197	3,961
短期借入金	9,900	7,000
未払金	11,706	8,263
未払法人税等	22	677
賞与引当金	2,585	2,782
役員賞与引当金	24	11
その他	4,889	3,787
流動負債合計	53,949	46,329
固定負債		
長期借入金	—	3,000
退職給付引当金	3,755	4,042
役員退職慰労引当金	8	—
資産除去債務	376	381
その他	944	1,377
固定負債合計	5,085	8,801
負債合計	59,034	55,130

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,778	2,778
資本剰余金	9,779	9,779
利益剰余金	15,467	15,812
自己株式	△0	△9,193
株主資本合計	28,025	19,177
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	236	260
評価・換算差額等合計	236	260
純資産合計	28,262	19,437
負債純資産合計	87,297	74,568

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	69,293	130,360
売上原価	55,765	108,335
売上総利益	13,528	22,024
販売費及び一般管理費	11,599	19,902
営業利益	1,928	2,121
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	10	7
販売コンテスト関連収入	7	9
店舗移転等支援金収入	20	22
その他	10	60
営業外収益合計	52	101
営業外費用		
支払利息	—	20
固定資産除売却損	5	5
自己株式取得費用	—	5
その他	0	6
営業外費用合計	5	37
経常利益	1,974	2,185
特別利益		
固定資産売却益	—	0
その他	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
店舗閉鎖損失	29	44
固定資産除売却損	5	9
関係会社株式評価損	17	7
減損損失	27	13
その他	1	2
特別損失合計	80	76
税引前四半期純利益	1,894	2,109
法人税、住民税及び事業税	680	606
法人税等調整額	247	417
法人税等合計	928	1,023
四半期純利益	965	1,086

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,894	2,109
減価償却費	353	926
のれん償却額	376	248
減損損失	27	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△129	197
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	152	287
受取利息及び受取配当金	△14	△7
支払利息	—	20
売上債権の増減額(△は増加)	4,559	10,859
未収入金の増減額(△は増加)	1,304	2,896
たな卸資産の増減額(△は増加)	208	△1,310
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,188	△1,013
未払金の増減額(△は減少)	△937	△3,336
その他	△451	△1,249
小計	2,141	10,614
利息及び配当金の受取額	14	7
利息の支払額	—	△18
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,414	578
その他の収入	38	71
その他の支出	△45	△72
営業活動によるキャッシュ・フロー	733	11,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△333	△653
無形固定資産の取得による支出	△130	△93
関係会社株式の取得による支出	△10	△16
関係会社の整理による収入	—	10
敷金及び保証金の差入による支出	△115	△96
敷金及び保証金の回収による収入	7	75
その他	△18	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△601	△786
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△2,900
長期借入れによる収入	—	3,000
自己株式の取得による支出	—	△9,198
配当金の支払額	△592	△740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592	△9,839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△460	556
現金及び現金同等物の期首残高	9,461	1,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,000	2,416

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

当社は、平成25年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式は9,193百万円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式は9,193百万円となっております。

(6) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、携帯電話等の通信サービスの契約取次、契約者へのアフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を行う、携帯電話の一次代理店を基幹事業としています。

したがって、商品販売及びサービス提供を行う顧客の属性から、「コンシューマ事業」、「法人事業」を報告セグメントとしております。

「コンシューマ事業」は、コンシューマ顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を行っております。

「法人事業」は、法人顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を中心としつつ、携帯電話を利用したマーケティング・ソリューションの提供、コンビニエンスストアに対するプリペイドサービスの提供、インターネット接続サービスの提供及びM2Mソリューションの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	法人事業	計		
売上高	122,309	8,050	130,360	—	130,360
セグメント利益	3,092	913	4,006	△1,884	2,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,884百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

販売の状況

(単位：百万円、%)

		前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	増減率
コンシューマ事業	売上高	61,982	122,309	97.3
	営業利益	2,086	3,092	48.2
法人事業	売上高	7,310	8,050	10.1
	営業利益	841	913	8.6
調整額	全社費用	999	1,884	88.6
四半期損益計算書 計上額	売上高	69,293	130,360	88.1
	営業利益	1,928	2,121	10.0